

# やながわ

議会だより



卒業おめでとう(昭代中学校卒業式)

## 3月定例会

令和5年度予算	2
予算審査	4
条例・人事・請願等	6
議決結果	7
やながわのここが聞きたい!	8
柳川の子どもたち・編集後記	20

垂見小6年  
もり ゆずき  
森 柚葵さん



表紙の「やながわ」  
私が書きました!



## 令和5年度予算

# 子育て支援、教育環境 の整備、豊かで安全・安心な市民 生活の実現に重点

## 一般会計予算総額 324億9,000万円

令和5年第1回定例会を令和5年2月24日から3月16日までの21日間で開催しました。令和5年度予算について、2月28日の予算質疑で市長が提案理由を説明。予算審査特別委員会での審査を経て、3月16日の本会議での予算審査特別委員会報告後、賛成多数で可決しました。ここではその一部を紹介します。

### 総務費 30億922万7,000円

- 柳川庁舎再編実施設計業務委託料  
1,950万円
- 柳川市民会館解体事業費  
8,100万9,000円



旧市民会館

### 民生費 132億2,767万5,000円

- やながわ子ども・子育て応援金事業費  
(市独自の応援金) 5,058万7,000円
- 出産、小学校入学、中学校入学の各節目において応援金を給付。
  - ・出産 1人につき5万円
  - ・入学 1人につき3万円



### 衛生費 25億1,372万8,000円

- 出産・子育て応援給付金  
(国の制度による給付金) 6,550万円  
妊娠届出時・出産後にそれぞれ5万円
- 柳川市資源物貯留施設整備事業費  
6,652万3,000円

令和5年度開館予定の一般廃棄物受け入れのワンストップ化施設「らくらくステーション」の整備事業費。



イメージ図

### 農林水産業費

#### 21億6,157万9,000円

- 漁協共同利用施設整備事業補助金  
4,481万4,000円
- 活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金  
1億2,373万3,000円





# 令和5年度予算・令和4年度補正予算

## 商工費 8億9,728万4,000円

○プレミアム商品券事業補助金 6,000万円

プレミアム商品券「柳川藩札」発行事業への補助。プレミアム率20%。市民生活への支援、経済回復に繋げる。



## 土木費 28億804万7,000円

○水郷柳川掘割地区整備事業費

3億8,207万9,000円

電線地中化（沖端水天宮周辺、柳川駅周辺）等

○公園整備費

4,400万円

柳城児童公園の改修など

○木造戸建て住宅性能向上改修補助金 310万円

・耐震＋省エネ改修

80万円×2件

・建て替えのための除却

30万円×5件



## 消防費 9億5,332万9,000円

○救急自動車購入費 4,611万8,000円

高規格救急自動車の更新のための費用。



## 教育費 33億4,571万9,000円

○学校再編事業費

333万6,000円

○昭代第二小・蒲池小 大規模改造工事費

2億4,339万6,000円

○市民体育館費

1億778万9,000円

耐震診断委託料、LED照明器具切替工事費、メインアリーナ屋内壁張替等の費用。

【特別会計】	令和5年度予算
国民健康保険特別会計	83億1,861万5,000円
後期高齢者医療特別会計	12億700万円
公共用地先行取得等特別会計	5,000円

## 令和4年度補正予算の主なもの

○ふるさと寄付金推進費

2億8,080万1,000円

寄付金予算額3億円に対して、寄付見込み額7.7億円に対応した事務費（返礼品代含む）の増額補正。



【公営企業会計】			令和5年度予算
水道会計	収益的 収支	収入	14億8,417万9,000円
		支出	14億895万9,000円
	資本的 収支	収入	7億7,559万3,000円
		支出	11億1,546万円
下水道会計	収益的 収支	収入	7億7,507万4,000円
		支出	7億5,460万5,000円
	資本的 収支	収入	5億4,572万6,000円
		支出	7億4,571万5,000円





# 令和5年度当初予算を審査



令和5年度柳川市一般会計予算を3月9日及び10日、13日の予算審査特別委員会で審査しました。特別会計及び水道・下水道事業会計は各所管委員会で審査しました。ここでは主な質疑内容を紹介します。

## 歳入質疑

**問** 固定資産税が国土調査によって約1億円増となっているが、市内全域が終わった後に課税では。

**答** 今回、旧柳川市の国土調査が終わり、一旦市内全域の国土調査及び地籍調査が終わったとし、令和5年度は新しい地積で課税をしていく。大和町は地区完了ごとに次年度から新地積での課税となる。

**問** 市税の法人分で減額要因の大きなものは。

**答** コロナの影響下から脱し切れていないこと、燃料・物価の高騰による収入の減少、また経費の増加による所得の減少など、総合的に勘案し、この程度の減少になると予測した。

## 歳出質疑

### 人件費

**問** 会計年度任用職員が16人減少しているが、報酬の差額は3万9,000円。16人減にも関わらず、報酬の変化がほとんど無いのは昇給によるものか。

**答** 人事院勧告に伴う月例昇給によるもの。

### 総務費

**問** 校区まちづくり協議会設立準備及び運営補助金で75万円計上しているが、現在何校区で、運営補助の金額は。また令和5年度の見込みは。

**答** 現在、豊原校区に補助金10万円、城内校区に準備補助金5万円出している。今、二ツ河校区や両開校区で準備委員会設置の準備をしている。

【要望】先駆者となっている校区についてはある程度潤沢な予算をつけて活動できる体制を整えて欲しい。

## 民生費

**問** 敬老会事業委託料で式典ありは2,000円、式典なしは1,500円となっているが。

**答** 式典をしていない場合も同じ金額であることはおかしいと指摘を受けたことを勘案し、開催しない場合を検討した。式典をしない場合1,500円とし、差を設けた。

## 衛生費

**問** スズメバチの駆除委託料は令和4年度何件の要請があったか。また要請は夏場のみか。冬場もあっているのか。

**答** 令和4年度の委託料を使った駆除件数は10件。委託料を使用する駆除は高い所分、低い所分は職員で対応しているため、実数はもっと多くなる。また、基本的には夏場が多いが、秋口までは要請がある。冬にもたまに電話はあるが八手はおらず巣だけなので駆除という形ではない。



## 農林水産業費

**問** 農業の新規就農者には県補助等多々あるが、漁業者の新規就業者には補助金がない。漁業者の有明海再生植樹活動といった活動をPRしないことには県が漁業者の活動を認知しないためPRをしていってほしい。

**答** 漁業者の後継者問題に対して補助が無いという問題は、いろいろな要望と併せて、県水産振興課や上部団体である国に対して後継者不足を懸念するという話を持っていきたくて考えている。

## 商工費

**問** 令和5年度もV字回復キャンペーン以外のやなほや商店街を対象とした補助を行うのか。

**答** その他の支援事業はコロナ対策費で行っていたため、そういった補正があれば実施をすると思う。

**【要望】** コロナの補助金が出た場合は、支援事業の実施をお願いしたい。

## 土木費

**問** 道路関係予算が増額となっているが、業者の受注や入札の不落等は大丈夫なのか。

**答** 早期発注や業者の手持ちがない時に発注できるように努める。

**【要望】** 公共工事は金額によってランクがあると思うが、希望者が多い事業に、誰も希望しない事業をセレクトにする等入札方法の研究をしてもらいたい。

## 消防費

**問** 4台で市内救急に対応しているとのことだが、柳川市の救急搬送困難事例は。

**答** 搬送困難事例は、受入れ照会病院が4回以上または救急隊が現場に到着し病院を決定し現場を出発するまでの時間が30分以上の場合を救急搬送困難事例としている。第7波の7月に44件、8月に66件で前年同月比の約7倍。第8波で

は12月に42件、1月に49件あり前年同月比約4倍となっている。

## 教育費

**問** 柳川市立学校いじめ防止対策委員はどのような内容を検討しているか。

**答** 常設しているものではない。内容は、いじめ事案に対する必要な調査研究となっているが、現実的には重大事案が発生した場合に設置をするという規定になっている。ここ2、3年のうちは設置した事例はない。

**問** 二十歳のつどいは、ここ数年ずっと参加しており、年々ちょっと風紀が乱れつつあるなと思っている。これ以上荒れてくると二十歳のつどいをやる必要性があるかなというところも少し考えなければいけないと思うが。

**答** 逆に少し落ち着いてきているのではなからうかと思う。柳川警察署の協力で、そういった傾向のある20歳の方には、ついて回る状況である。

**答** 一部の方がそういうことをするが、私達の方で管理者がきちんとした対応をすればそれで済むのではないかと思う。この集いは、今後も続けていきたい。

## 総括質疑

**問** 補助金及び委託料は、効果と実際に何に使っているのか疑問。所管課が厳しい目を持って審査し、効果を上げていけるものには増やすぐらいしてもよいと思うが、垂れ流しみたいなことがないように。

**答** 補助の目的がそもそもあるわけなので、補助金を交付した団体ではそれをうまく活用してもらいたい、特に地域内で活用して、経済が回る方向も考えてもらいたいと思っている。





条例制定・改正の  
主なもの



柳川市個人情報保護に関する法律施行条例の制定

個人情報保護の保護に関する法律の一部が改正され、市にも適用されるため、現行の個人情報保護条例を廃止し、新たに同法の施行に関し必要な事項を定める。

柳川市中小企業融資制度に係る中小企業者等の事業の再生のための措置に関する条例の制定

中小企業者等の迅速かつ円滑な事業の再生に資することを目的とし、福岡県信用保証協会が中小企業者等に対する求償権を行使して回収金を取得した場合に生じる市の回収納付金を受け取る権利の放棄に関する事項を定める。

柳川市手数料条例の一部を改正する条例の制定

令和5年4月1日から証明等の窓口交付の手数料を200円から300円に改正。

なお、コンビニ等に設置の自動交付機による証明書は手数料200円に据え置き、令和5年度の1年間のみ100円で交付。

人事



教育長

任期 令和5年4月1日から  
令和6年3月31日

◆橋本秀博 氏 (62歳)

人権擁護委員

任期 令和5年7月1日から3年

◆瀬戸京子 氏 (68歳) 再任

◆久保泰昌 氏 (68歳) 新任

◆乗富祐治 氏 (65歳) 新任

請願



ワンヘルスの推進に関する請願

◆要旨

市民の健康と生活を守るため、ワンヘルス実践（人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組）について、福岡県と連携・協力するとともに、市民と一体となって積極的に取組むこと。

◆請願者

一般社団法人 柳川山門医師会 会長 龍元昭 他2団体

◆紹介議員

今村 智子  
荒巻 英樹

◆結果

本会議において、賛成全員で採択されました。

決議



「オスプレイ等の配備に関する調査特別委員会」設置に関する決議

3月16日定例会最終日に緒方寿光議員より動議提出。佐賀空港へのオスプレイ配備計画が着々と進む中、早急に柳川市民の安全安心の担保を取り付ける時期になってきていること、柳川市民の不安の払拭ができていないこと等を理由とし、特別委員会を設置すべきとの内容。採決の結果、賛成少数で否決された。

次回定例会の日程（予定）

6月13日（火）	開会・提案理由の説明
6月16日（金）	議案質疑
6月20日（火） 21日（水） 22日（木）	一般質問
6月23日（金） 6月26日（月）	委員会
6月29日（木）	採決・閉会



## 賛成全員で可決・同意・採択した議案と請願

- 議案第 1 号 令和4年度柳川市一般会計補正予算（第7号）
- 議案第 2 号 令和4年度柳川市一般会計補正予算（第8号）
- 議案第 3 号 令和4年度柳川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第 4 号 令和4年度柳川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 議案第 5 号 令和4年度柳川市水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第 7 号 令和5年度柳川市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 8 号 令和5年度柳川市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第 9 号 令和5年度柳川市公共用地先行取得等特別会計予算
- 議案第10号 令和5年度柳川市水道事業会計予算
- 議案第11号 令和5年度柳川市下水道事業会計予算
- 議案第12号 柳川市個人情報保護に関する法律施行条例の制定
- 議案第13号 柳川市資源物貯留施設条例の制定
- 議案第14号 柳川市中小企業融資制度に係る中小企業者等の事業の再生のための措置に関する条例の制定
- 議案第15号 柳川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第16号 柳川市職員の給与に関する条例及び柳川市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第17号 柳川市手数料条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第18号 柳川市民文化会館条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第19号 柳川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第20号 柳川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第21号 柳川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第22号 柳川市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第23号 柳川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第24号 柳川市水道事業給水条例及び柳川市下水道条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第25号 市道路線の認定、変更及び廃止
- 議案第26号 権利の放棄について
- 議案第27号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議案第28号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議案第29号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議案第30号 柳川市議会の個人情報保護に関する条例の制定について
- 請願第 1 号 ワンヘルスの推進に関する請願

## 賛否の分かれた議案・決議

	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		菊次 太丸 (公)	梶島 正吾	甲木健太郎 (自)	三小田保弘	田中 康徳 (自)	橋本 憲之 (自)	佐藤 勝広	今村 智子 (公)	浦川 和久 (自)	新谷信次郎	江口 義明 (自)	荒巻 英樹 (自)	佐々木創主	荒木 憲 (自)	高田千壽輝	矢ヶ部広巳	緒方 寿光	樽見 哲也	近藤 末治 (自)
第6号	令和5年度柳川市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	※
第31号	柳川市教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	※
決議	「オスプレイ等の配備に関する調査特別委員会」設置に関する決議	●	○	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	欠	○	○	○	※

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

[会派] (自): 自由民主党柳川市議団、(公): 公明党





# やながわのここが聞きたい!

議会HPから録画映像をご覧になれます。『柳川市 議会中継』で検索

質問者氏名	質問事項	ページ	QRコード
三小田保弘	1. 海苔養殖不作について 2. 柳川城について 3. 道の駅について	p9	
橋本 憲之	1. 行政と市民、行政区の結びつきについて 2. 今後の観光事業への取組みについて	p10	
高田千壽輝	1. 陸上競技場について 2. 今期のノリ養殖の状況を	p11	
田中 康徳	1. 水害対策の経過と現状 2. 有明海の環境の変化について	p12	
今村 智子	1. 子宮頸がんを防ぐHPVワクチンについて 2. 介護人材不足について	p13	
新谷信次郎	1. 海苔養殖の不作及び強風被害について 2. 柳川市立小学校における今年度の課題 3. 水道未加入世帯への支援金について	p14	
荒巻 英樹	1. 地域公共交通の充実にむけて 2. 大河ドラマの誘致について	p15	
佐々木創主	1. 柳川市産業の現状と課題	p16	
緒方 寿光	1. 市長の「若年層の人口流出」を抑制する政策は 2. 本市の「佐賀空港へのオスプレイ配備計画」に対する対応は	p17	
甲木健太郎	1. 福祉施策について 2. 地域経済について	p18	
矢ヶ部広巳	1. 三橋町柳河の62戸建ての排水は 2. コロナ感染状況は 3. 有沿下の側道が横断している所に防犯カメラの設置を 4. 民生委員の欠員は	p19	

文字数の制限により質問内容すべてを掲載できないため、インターネットの録画映像もご覧ください







# 海苔養殖不作の原因と対策



三小田 保弘

## 問

今期の海苔養殖は今までに例を見ない不作となっている。種付け前に雨が少なく、日向神ダム、松原堰の建設により、有明海に昔から流れてきていた水、砂が流れてこなくなり、栄養分・ミネラルの減少により魚介類の減少、赤潮の発生が激増したためではないのか。

生産側では漁業者をはじめ生産にかかわる鉄工所などその関連企業、消費側では海苔加工会社など市内にはたくさんあり、



海苔養殖風景

## 答

市長 海苔生産者の皆さんは、全力で頑張って生産されているので、福岡有明海漁連と一緒にあって、国県へ要望を行っていききたい。

そこで働く方もたくさんおられる。長く今期のような不作が続けば、柳川市の経済、雇用にも多大な影響が考えられるがその対策は。

## 柳川城

## 問

過去の一般質問において柳川城関連の質問が多数あったが、進捗状況は。

## 答

観光課長 7回にわたり一般質問があったが、現段階で取り組む構想には至っていない。

## 問

平成16年完成の愛媛県大洲市の大洲城があり、人口3万8千人と本市よりも人口が少ない地域でありながら実現している。活動主体、財源は。

## 答

観光課長 「大洲城天守閣再建検討委員会」発足後10年がかりで完成。総事業費は約16億円で内訳は、県920万、地方債8億5,930万、民間など寄付金4億4,650万、2億7,927万円が一般財源。

## 問

本市には、観光施設が多数あり柳川城を復元することで、更に観光都市として魅力が増し、観光客の増加が見込まれる。大洲市の活動を模倣しながら

ら本市においても柳川城復元を進めてもらいたい。今後は。

## 答

観光課長 今後を見据えながら、限られた財源を有効に活用し、最小の経費で最大の効果を上げることが念頭に置いて研究する。



柳川城パネル

## 道の駅

## 問

過去の一般質問において道の駅関連の質問が多数あっているが、進捗状況は。

## 答

商工・ブランド振興課長 農業、漁業、商工観光業の課題解決に向けて検討している。





# 負担が大きい地域の役職



橋本 憲之

**問** 行政区長には多数の業務があり、かなりの骨折りをしていることに頭が下がるばかり。区長の平均年齢と不在となっている行政区はあるか。

**答** 総務課長 60代から80代で70代以上が多い。行政区が326あるが、区長不在が2区。

**問** 区長の業務内容を鑑みると、なり手が居ないのも理解できる。同じく、なり手不足により苦勞してある民生委員児童委員の平均年齢と人員状況は。

**答** 福祉課長 平均年齢は67・7歳。定数1777人だが、現在1人欠員の176人。

**問** 区長同様、高齢化しているとのこと。区長を巻き込んでの人材確保を相当憂慮されていることには早急に何らかの対策を講じるべき。

行政区長へお願いする主な事務について

- 各種調査書、報告書等の配布に関すること。  
\*各課が行うアンケート調査における調査書の配布など。
- 各種調査報告の取りまとめに関すること。  
\*各課が行うアンケート調査における調査書の取りまとめなど。
- 市民を対象とする周知事項の伝達及び周知文書の配布に関すること。  
\*市から連絡事項  
市や公的団体の発行する広報やお知らせに関して、住民のみならず関係者も含む。  
① 広報の配布に関すること  
② テラシ景観誌、ポスター掲示
- 諸証明事務についての確認に関すること。  
\*本庁や他課、部などの担当責任に委ねられた地域の住民の方が、各課会社に提出する書類として、各課の担当課より申請書を発行しており、それに地元の区長さんから確認といった形で対応をしているためです。
- 前各目に掲げるものほか、市長において必要と認めること。  
(1) 住居実態調査等への協力（市民課）  
(2) 選挙一覽票の整理（市民課）  
(3) 不動産課の管理（防災防犯課）  
(4) 消防・防災等の関係協力（消防課）  
(5) 老朽危険建築物への対策（市民課課長）  
(6) 市内一斉清掃への協力  
(7) 選挙管理委員会の協力  
(8) 文書等に準ずる立会い・開会  
(9) 法外公共物に係る調査（財政課、国土建設課、水務課）  
(10) 住居実態調査の取りまとめ（市民課）  
(11) 国土調査実施に伴う推進委員の組織（国土課課長）  
(12) 民生委員児童委員活動への協力（民生課）  
(13) 水防安全の確保（消防課）  
(14) 各種調査等への参加（各課）  
(15) 行政活動助成金の交付申請業務（総務課）  
(16) 自治会・町内会等への加入促進活動（総務課）  
(17) 地域の観光・イベント活動（各課）

行政区長へお願いする主な事務（抜粋）

**問** 地元区長から多面的機能支払交付金事業（いわゆる農地水環境保全活動を来年度は行わないと報告を受けた。

このような団体の運営はどんな方が担ってあるか。

**答** 農政課長 行政区、公民館、老人クラブ、農事組合法人、営農組合、水利組合等から代表になられている。

**問** 活動計画から実施報告までの事務手続きは簡単か。

**答** 農政課長 多少煩雑。

**問** 私の地元は、区長が代表で事務手続きをされていた、後継者の選定で問題が起これる。後進に迷惑をかけることは出来ないのか、今回の事業更新を見送ったとのこと。事務手続き簡素化や職員のリフォローは。

**答** 農政課長 国・県に毎年、事務の簡素化要望をしている。指導、助言さらに事務手続きなどを農政課と水路課で手分けをして支援を行っているが今後もしっかり支援を行いたい。

**問** 地元の子ども達と共に活動が出来ない取組の一つだった。ぜひ前向きな働きかけをお願いする。

区長、民生委員児童委員、環境保全活動において業務の負担が多く、大きい為に慢性的な担い手不足が生じている。個々の負担を減らし、後継者を安定的に確保することも持続可能な柳川市の運営には大きく影響を与える。また行政区の規模の違いも、担い手不足の一つの要因。市民サービス平準化の観点から行政区の規模を調整する統合等も必要。



子ども参加による環境保全活動



# 400m陸上競技場整備は



高田 千壽輝

**問** 市が計画されている陸上競技場は、全天候型の公式の400メートルトラックか。

**答** 生涯学習課長 トトラックは、高齢者から子どもまで気軽にスポーツやレクリエーションを楽しんでいける憩いの場を整備する予定のため、非公認の全天候型陸上トラック整備を考えている。

**問** 全天候型トラックは、ウレタン舗装か。

**答** 生涯学習課長 ウレタン舗装で整備する。

**問** グラウンドの排水対策は。

**答** 生涯学習課長 現在の水路の幅1.5メートル水深60センチを付け替え工事で流量を増やし通水性を落とすことなく整備する。

**問** フィールドは土で整備されるが管理上問題はないのか。

**答** 生涯学習課長 フィールドは、小中学校のグラウンドと同じ土で整備する。同様の施設を持つ近隣の自治体に確認したところ、定期的なトラック洗浄とフィールド内に設置する側溝を清掃することで対応している。

**問** 建設費の8億1,600万円の根拠は。

**答** 生涯学習課長 用地整備の3億5,200万円の内訳については、土地取得費、造成費等2億5,100万円、水路付け替え費1億100万円を試算しており、グラウンド整備費用は3億3,400万円、駐車場整備費用に1億円、トイレ等その他の整備費用に3,000万円。

**問** 全天候型陸上競技場整備の必要性は。

**答** 市長 令和2年8月18日付けで地元行政区長会長ほか10名の連名により、柳光園及びクリーンセンター跡地活用について、多目的公園（防災施設、老若男女が集える憩いの場、スポーツ場等）の整備要望書が提出。令和4年2月にごみ焼却場地域住民対策協議会から同様の要望書が提出され、これを受けて市としては、400メートルトラック整備を含んだ「憩いの広場（仮称）」の整備を計画した。



全天候型陸上競技場





# 水害対策の経過と現状



田中 康徳

**問** 柳川南部地域における、これまでの浸水被害をどう考えるか。

**答** 水路課長 両開地区に關係する水門管理の状況だが、両開地区の水は、基本的に二ツ川より取水し、城堀から、沖端、城内、東宮永、西宮永地区などを經由し両開地区へ流れ込む。大雨時には、これらに關係する行政区長や地区の水路委員長をはじめ、専任された水門、排水機場の操作の方々と、柳川市、土木組合が連携して調整を行っている。

**問** これからの浸水対策・大規模な改善策をどう考えるか。

**答** 産業経済部長 令和3年には、福岡県庁にて担当部署の方と面談を行い、市内の冠水被害の実情を訴え福岡県知事宛に要望書を提出、同年6月に九州農政局の担当部署と面談し九州農政局宛に要望書を提出している。多くの方々にご尽力いただいた結果、今年度より地域排水機能強化のための排水解析調査の実施につながった。今後は、排水解析調査結果を基に費用対効果を考慮しながら排水機場の能力増強など、ハード対策に移行するものと考えている。



両開地区の道路冠水状況

## 有明海の環境の変化は

**問** 海に流れこむゴミ・浮遊物の対策は。

**答** 水産振興課長 有明海沿岸4市、漁連等で組織する福岡県有明海漁業振興対策協議会より、福岡県などへ、ごみの流出抑止策を講じていただくよう要望を行っている。同様に、筑後川河川改修期成同盟会や筑後川河川事務所との意見交換会においても要望を行うとともに、市としても国や県、漁業者、地元住民等と協力しながら、ノイポイ運動やクリーンアップ作戦などの河川清掃や啓発活動を行っている。

また、筑後川下流域関係の国、県、市、農漁業団体で組織する福岡県筑後川下流域落水連絡協議会において、水路等から流れる水草の流出防止のための協議、啓発、スクリーン等の設置要請やパトロールの実施などの対策を行っている。さら



漁港に漂着したごみ

に、河川流域内の国、県、市町等が加盟する水質汚濁対策連絡協議会において、河川へのゴミの流出について情報共有を行うとともに、各自治体の広報紙においても流域住民にゴミのポイ捨てをやめるよう啓発を行っている。

**問** 筑後川の水は、有明海に栄養をもたらさず大切な水だが福岡都市圏に送られている流量は。

**答** 水産振興課長 ノリ漁期における筑後川から福岡都市圏に送られる平均水量は、毎秒約2.5トンとなっている。



# HPVワクチン接種状況は



今村 智子

### 問

子宮頸がんは若い女性に発症するがんで、日本では毎年約11,000人が発症し約2,900人が亡くなっている。発症の原因はHPVの感染によるもので、その予防としてはワクチン接種が有効であり、日本では平成25年4月から小学6年〜高校1年の女子を対象に無料で受けられる定期接種となる。しかし、ワクチン接種後の副作用が懸念され、積極的な勧奨を控えることとなった。その後、HPVワクチンは安全性と有効性が確認され、令和4年4月より積極的な勧奨が再開されている。

本市ではHPVワクチンの接種を逃した方のための接種（キャッチアップ接種）は、どのような対応をされているのか。

### 答

健康づくり課長

対象者の平成9年4月2日〜平成18年4月1日生まれのうち、接種が完了していない人には個別通知を行っている。また、本市からの転出者には住民登録地の市町村からキャッチアップ接種の案内があっている。令和4年3月31日までに自費で接種を受けた方には償還払い（払い戻し）を行っている。

### 問

令和5年4月より定期接種となった「9価ワクチン」の効果や安全性、副反応はどうか。

### 答

健康づくり課長

効果は子宮頸がん原因の80〜90%を予防できる。副反応は、接種部位の痛みや腫れ、また頭痛や発熱、めまい、疲労感等の症状がある。

### 問

実施にあたり本市の対応は。

### 答

健康づくり課長

対象者には個別通知を行い、また定期接種の最終年度である高校1年相当年齢の未接種者に対しては再度、接種案内を行う予定とし、必要な情報と接種機会の提供に努める。

## 介護人材不足

### 問

75歳以上の後期高齢者の状況は。

### 答

福祉課長

75歳以上の後期高齢者人口の比率は、令和5年1月末で18.6%、令和7

HPVワクチンに関する情報

厚労省 HPV

検索

年9月末で20.7%（5人に1人）、令和22年9月末で25.0%（4人に1人）と予測されている。

### 問

介護職員不足が問題となっているが、市長の見解は。

### 答

市長

県介護保険広域連合と共に取り組み、その中で介護の人材確保ができるよう積極的に提言していく。また、高齢者が住み慣れた地域で過ごしていただくためにも、要介護にならないような地域づくりを積極的に行っていく。





# 柳川市立小学校の課題



新谷 信次郎

**問** 市内小学校における令和4年4月と令和5年3月現在の定数欠の状況は。

**答** 学校教育課長 定数欠に講師等の配置ができていない分は令和4年4月において4名だが、今現在は配置ができています。

**問** 過去3年において新採教員の退職、病休があるか。

**答** 学校教育課長 新規採用教員の退職は令和2年度は1名、令和3年度は2名、今年度は現在のところいない。



柳川市教育施策

**問** 新規採用の教員が過去2年間で6名も退職されたり病休になった。今年度の病休者数は。

**答** 学校教育課長 今年度の病休者数は9名で、その内精神的な疾患者数は7名。

**問** 今年度産休、育休者数と来年度予定の数は。

**答** 学校教育課長 今年度の産休育休者数は23名、来年度は17名の予定。

**問** 今年度定数欠と産休育休あるいは病休等が重なった小学校は。

**答** 学校教育課長 今年度、定数欠と産休育休または病休が重なった学校は7校。そのうち4月に講師が配置できなかった学校が3校あった。

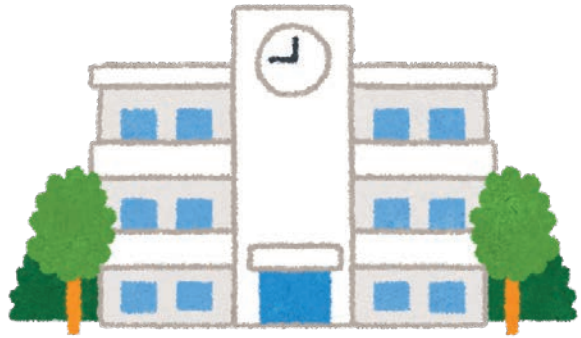
**問** このような教員体制の不備で学校はまわっているのか。主幹が担任、教頭が授業をしたり担任をサポートする事例は。

**答** 学校教育課長 今年度、主幹教諭が担任をした小学校は9校。また、教頭先生が専科や少人数授業、別室登校の授業などを行った事例がある。

**問** 主幹教諭は本来担任の数にカウントするのかわ。

**答** 学校教育課長 本来はカウントしない。

**問** さらに、学校の教員体制が整っている学校と、定数欠のうえに産休育休病休等がある大変厳しい学校との格差があつて、不公平感が広がっていると聞く。教員体制の学校間格差があるのでは。



**答** 学校教育課長 学校規模が小さい学校では業務が重なってくる。学校の教員の配置で不公平はない。

**問** 学校によって定数欠や産休育休の代替がないなどの教員の体制にマイナスの条件が重なり格差があるような人事異動がないようお願いしたい。

**答** 教育長 不公平感については万全の体制を整えていきたい。



# 地域公共交通の充実を



荒巻 英樹

## 問

西鉄電車は昨年8月28日のダイヤ改正で柳川発の急行がなくなり、大牟田発では座れなくなり通勤がきつくなつたという手紙や電話を頂いた。利用しやすいダイヤ改正を要望するためにアンケート調査を行うべきでは。

## 答

企画課長 現在、地域公共交通計画の策定を行っており、昨年8月に市民2,000人にアンケートを実施した。

## 問

それはダイヤ改正前であり、改正後に不便になった点を改善してもらうため西鉄電車に絞ってのお願いだが。

## 答

企画課長 次回のタイミングで実施するか、検討していく。

## 問

路線バスに乗ったことがない方や日頃敬遠されている方の掘り起こしのため運賃無料を実施しては。

## 答

企画課長 令和3年度以降、9月20日のバスの日に合わせて無料乗車を計画したがコロナ禍で実施出来なかった。減収や赤字補填に係る補助金の削減など課題があるが、公共交通の利用者が増えていく取り組みは継続して行う必要があるので、利用促進の取り組みに向けて検討していきたい。

## 問

昭代地区のコミュニティバスで、現状の反対回りを取り入れ交互運行はできないか。

## 答

企画課長 効果が薄く、利用者が高齢者が多く混雑が発生する可能性から従来通りの運行としていた。今回市内循環線で交互運行を試験的に実施するので、結果を見て検討していく。

## 問

バス停が遠くタクシーでの通院を余儀なくされている方もいらっしゃる。通院支援タクシー助成券の導入を検討すべきでは。

## 答

福祉課長 調査研究をしていきたい。



佐賀県内での取り組み

## 大河ドラマ招致へ起爆剤を

## 問

柳川駅前広場に宗茂公、閻千代姫、田中吉政公の銅像を建ててPRしては。

## 答

観光課長 研究させて頂きたい。

## 問

高知駅前では坂本龍馬らの像が特殊加工の発砲スチロール製で全高8.3m、1体200万円で制作されているが。

## 答

観光課長 高知の例を参考に費用対効果を含めて研究していく。

## 問

公募で宗茂公の歌を作り市民にイベント等で歌ってもらうのは。

## 答

観光課長 関心を持って頂くきっかけになるのではないかと考えている。他の自治体の取り組みなども含め調査研究していく。

## 問

招致への市長の見解は。

## 答

市長 これからトップギアに入れながら頑張っていく。



高知駅前の三志士像





# 海苔養殖を持続させるには



佐々木 創主

## 問

柳川市の産業の総生産額3千億円で、労働従事者3,100人、平均生産高645万円。基幹産業の農漁業の状況は。

## 答

農政課長 令和2年度、30a以上の面積の認定農家は274戸。認定農家の目標所得は500万円で、収入は米麦大豆14ha生産で約2,000万円。施設園芸ナス30a生産で約1,700万円。

## 答

水産振興課長 アサリ、エビなどの魚介類の生産高、漁業従事者ともに減少している。

## 手厚い新規就農支援

ノリ漁家は、令和元年401戸から令和3年354戸と47戸減少。県の資料では、35小間で生産高3,140万円、所得が840万円。

## 問

商工業の新規創業者、新規就農者、新規漁業就業者は。

## 答

商工・ブランド振興課長 上限75万円の支援補助金を利用して、飲食業、美容業、電気工事業など毎年12件から24件開業。

## 答

農政課長 新規就農相談会を経て、指導を受けながら栽培品目選定、経営計画を立て、施設園芸ナス25aの場合約6千万円の初期投資のうち、3千万円の補助、年間150万円の経営開始資金を受給できるが、これまで10年間で53人が新規就農。

## 答

水産振興課長 新規の漁業就業者は年10人程度だが、世襲の方ばかり。中でもノリ養殖は、経験、技術に加え、漁船、作業小屋、ノリ加工機械等の初期投資に1〜2億円かかるので、新規の人はいない。



造船費用約6,500万円の漁船

## 新規就漁業の支援制度を

## 問

農業は、資金、技術、経営に對する支援制度が手厚い。

ノリ養殖の生産高は、年平均125億円。生産高5千万円の漁家の場合、燃料、資材など経費は年4千万円と地域経済への貢献が大きい。

このまま漁家の減少が続けば、ノリ産業自体が衰退し、地域経済への影響が心配される。新規漁業就業者への研修制度、廃業する漁家の船、機械などを漁連、漁協で買い取り、それを新規漁業就業者へ貸付け、数年後に独り立ちしてもらおう体制、支援制度が必要。

## 柳川だけの問題ではない

## 問

今年の海苔は大作、これを契機に、柳川市長が先頭に立って近隣の自治体、漁連と連携して国に支援制度整備の要望をしていくべき。

## 答

市長 水産庁、国へ要望していきたい。



オートメーション化された海苔加工





# オスプレイ問題、どうする



緒方 寿光

**問** 平成30年に佐賀県知事が計画を容認し、2月末に佐賀市長が配備計画受け入れ表明を行った。市長の方針は。

**答** 市長 本格的に協議をしていく時期が到来した。やむを得ず市内上空を飛行する場合のコース確認、有明海への排水対策、市民生活への影響など九州防衛局と協議を進める。

**問** 本市は6年前に3つの懸念事項(①オスプレイの安全性②騒音の生活環境への影響③観光に対する影響)を国に示し

ているが、明確な具体的回答はなく未だに柳川市民の不安は払拭されていないが。

**答** 生活環境課長 あらためて「3つの懸念事項」をはじめ、市民の安全安心の担保について具体的な説明を求め、内容を精査検討し、公表すべきものは公表していきたい。

**問** 今後の協議等のタイムスケジュールは。

**答** 市長 3月議会が終了し4月に防衛省と話し合いを再開し、住民説明会は5月末までには行いたい。



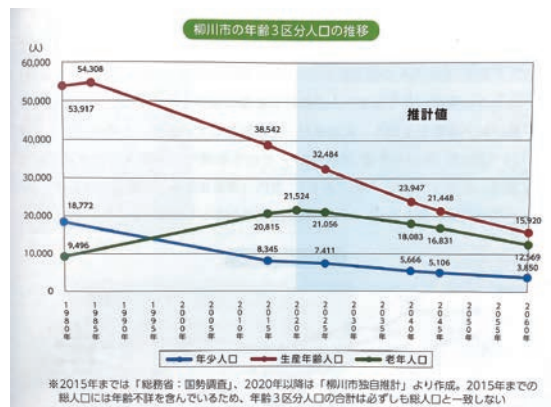
オスプレイ

## 若年層の人口急減を抑制する政策は

**問** 本市の令和3年度末人口は63,556人となり12年前に71,000人あった人口は約8,000人減少し、前年比で過去最大の1,010人が減少した。うち生産年齢人口は過去最大の834人が減少し、結果34,284人となり全体人口に占める割合は53.9%となり過去最低となった。さらに2040年には生産年齢人口は約21,000人まで急減する。市長の政策並びに施策は。

**答** 商工・ブランド振興課長 小中学校再編で廃校跡地活用策の一つとして、既存の専門学校の規模拡大について調査したい。

**答** 市長 新年度から「雇用・定任促進奨学金返済支援事業補助金制度」を始める。奨学金を返済しなければならぬ学



今後の人口減少推計値(第2次柳川市総合計画より)

生の地元企業への就職につながり、若者の流出抑制になる施策と考えている。

**問** 市内高校3校の卒業生は毎年約600人であり、すでに魅力ある新産業に関連した教育が行われている高校もある。本市は産官学をもって連携し、若年層に魅力のある企業を積極的に誘致し、若年層の雇用の場を創出すべきでは。

**答** 市長 今回新設した企業誘致推進室で、今後10年間の小中学校統合による廃校を利活用し、企業誘致を含め研究していきたい。





# 優しい福祉と強い経済を



甲木 健太郎

## ウェルビーイングな社会へ

**問**

市民の幸福度が低ければ、更なる人口減少になりかねない。これから目指すべき持続可能な地域社会は「内的な価値に関心が向かう社会」、市民のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）ではないか。ウェルビーイングを実感できる地域社会実現に向けての施策を進めていくべきだと思うが本市の考えは。

**答**

福祉課長 ウェルビーイング実現の足掛かりとして、地域社会で高齢者の生きが

い作りの機会の提供や老人クラブの支援、介護予防サポーター育成など地域の助け合いの仕組みを支援し、「地域共生社会」を目指す。



## 生きづらさに寄り添う柳川

**問**

内閣府が行った調査によると、社会に生きづらさを感じている方は15歳〜39歳までが54万人以上、40歳〜64歳までが61万人以上いる。本市の生きづらさを感じている方への対応は。

## 循環型経済で強い地域を

**答**

福祉課長 相談窓口の機能強化、周知徹底、関係機関との連携を強化し、本人やご家族の気持ちに寄り添った対応を心掛けていく。

**問**

地域経済が循環型構造になっていないから活性化しない。ましてや本市には豊かな観光資源があり、外貨も稼げる。市民の暮らしを豊かにする強い地域づくり、地域経済循環分析について本市の考えと施策は。

**答**

商工・ブランド振興課長 やなほ事業や藩札事業や柳川ブランド認定品への支援、商店街への補助金事業を今後も実施していく。

**問**

市内事業者のお店、市内生産者が作ったものの購入を推進し、地域経済を強くするために、地域経済循環を分析しながら、資産の流出を阻止し外貨を稼ぎ、産業を充実させ地域経済循環を目指した施策を。

## 市内商業のDX推進

**問**

自治体がDX推進する上で、今後地域商業が目指す方向性は。

**答**

商工・ブランド振興課長 社会全体のデジタル化のための基盤を構築するため、地域商業においても行政が有するデータを活用した事業展開が求められている。

**問**

地域経済を強くするために、商業においても国などの補助金を活用し、市全体がより良いDX化へと進んでいくよう、自治体が申請するデジタル田園都市国家構想の活用を。



デジタル田園都市国家構想





# 排水対策に支障はないのか

## 水路課長 調整池を設置されている



矢ヶ部 広巳

**問** 三橋町柳河の分譲予定地は、私の首まである高さの盛土がされている。広さは1万9千㎡。そこに62戸の家が建つ。排水対策に支障はないのか。

**答** 水路課長 放流先水路を管理する市水路課として、当該地区の冠水状況を踏まえ、また、近年の大雨も考慮した排水計画を立ててもらおうよう開発業者と十分に協議を行っている。

開発業者と協議の中で、宅地予定地の東側の排水に考慮し、東側宅地と今回予定地との間に新たな水路を設置することとし、北側から南側水路へ新たに流れるように計画している。

また、この予定地は雨の際は農地が貯留機能を果たしていたように、分譲地に変わっても雨水が一気に水路へ流れ出ないよう、県の見解では不要といわれる調整池を設置されている。この調整池は、容量354㎡の貯水が可能となる。これにより市としても、以前と比べて影響は少ないものと考え、同意に至っており、県の許可のもと宅地整備が進められている。

# 有明海沿岸道路下の側道に防犯カメラの設置を

**答** 総務課長 令和4年10月に矢加部の有明海沿岸道路高架の市道に防犯カメラの設置の要望があっている。また国の有明海沿岸道路事務所にも要望されたことも聞いている。

市の対応は本人の話をしっかりと聞き取りし、すぐに現地調査を行っている。その後現地で要望された方と一緒に再度現地確認を行い、防犯カメラの設置について説



有明海沿岸道路矢加部高架下の状況

明した。その中で、防犯カメラを設置しているのは公共施設や駐輪場だけであること、地域の防犯カメラ設置は令和4年度から始めた行政区などで設置する防犯カメラの設置費用を補助する制度であること、それを活用するために区長や地域の方と話し合っていたきたいということとを説明した。また、この件は現地の写真とともに報告書としてまとめ部長まで報告している。今後要望を聞き流す事なく、市民に寄り添った丁寧な対応をしていく。





避難訓練や交通教室・防犯教室、着衣水泳、親子で学ぶ規範教育など、「自分の命は自分で守る」ための学習の場をたくさん設けています。

安全教育「自分の命は自分で守る」



J A 柳川青年部の協力の下、4・5・6年生を対象に、田植えや稲刈りを行って米作り体験を行っています。

郷土のよさを知る「米作り体験」

大和小学校



1月8日、中山校区公民館主催で行われた地域の伝統行事。子ども達がやぐらに火入れし、地域の人と無病息災や五穀豊穰、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いました。

ほんげんぎょう



6年生への感謝の会

中山小学校

もうすぐ卒業する6年生へ、在校生から歌や呼びかけ、手作りのプレゼント渡し。6年生からも卒業制作のお披露目やお礼の言葉、各学年の良さを俳句にしたための賞状が渡されました。



「伝統文化を尊重する」教育活動の一つです。一つの琴を三人の弾き手で練習。それぞれの技能を高めるために、教え合い、聴き合いながら学習しています。生徒の奏でる琴の音色に心が和みます。

琴の演奏



朝の読書の時間

大和中学校

自分が読みたい本を10分間読みます。静かな時間の中で、本の世界に浸ることで、自分を見つめ、自分の理想の生き方を見つけることができるようになることを願っています。

## 編集後記

新型コロナウイルス対策のマスク着用が、3月13日から「個人の判断」に委ねられました。これまで街の至る所でみかけていた「マスク着用をお願い」の張り紙も少なくなり脱マスクの日常がスタートしました。

3月の卒業式では卒業生がマスクを外す時もあり、その晴れやかな表情を垣間見ることができ胸が熱くなりました。

私の好きな言葉に「冬は必ず春となる」があります。どんなに苦しい冬の日々が続いても、負けなければ必ず春はやってくるという意味です。長かったコロナ禍と戦つた冬の日々も、皆さんの頑張りのおかげで春が訪れてきています。

これから花が咲き誇る季節の中で、皆さんの笑顔の花も満開になることを願ってやみません。

(今村 智子)

## 広報編集特別委員会

委員長	高田千壽輝
副委員長	今村 智子
委員	花島 正吾
〃	甲木健太郎
〃	橋本 憲之
〃	佐藤 勝広